

関係地区の皆様

国道20号諏訪バイパス事業に伴う地質調査へのご協力をお願い

国土交通省長野国道事務所
下 諏 訪 町

平素より国土交通省及び下諏訪町の道路事業につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国道20号諏訪バイパスにおいて、今後の設計や施工に必要となる地質調査を下記のとおり実施いたしますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

今回の地質調査は、物理探査やボーリングによる調査を行います。

調査につきましては安全第一に行いますが、ご不明点がございましたら、下記記載の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

記

1. 作業・調査位置 : 2ページをご覧ください。

2. 作業・調査内容

① 物理探査（電気探査・弾性波探査）

…地下の広域的な地質状況を確認するため、測線を配置して地震波や微弱な電気の伝わり方を確認します。

② ボーリング調査 地下の地質状況を確認するため、ボーリング調査孔を掘削して、地中の岩石や土砂などを採取します。

3. 作業・調査時期 : 令和8年5月下旬～令和8年7月下旬まで（予定）

天候等に伴い、作業期間が延伸する場合がございます。

作業時間は8：30～17：00頃とし、日・祝日は休工します。

4. その他

・作業員は身分証の携行もしくは腕章を着用しています。

・調査に関係する土地所有者には、事前にご了承をいただき作業を行います。

5. 問合せ先

<発注者>

長野国道事務所 道路事業推進室

住所：長野市鶴賀字中堰1 4 5

担当：田村、森、岡安

電話：026-264-7009

<地質調査担当会社>

国際航業株式会社 東京事業所

住所：東京都府中市晴見町2-24-1

担当：大畑

電話：042-307-7436

<下諏訪町窓口>

下諏訪町建設水道課 国道バイパス推進室 住所：下諏訪町4 6 1 3 - 8

担当：向山、遠藤、藤森

電話：0266-27-1111（内線247）

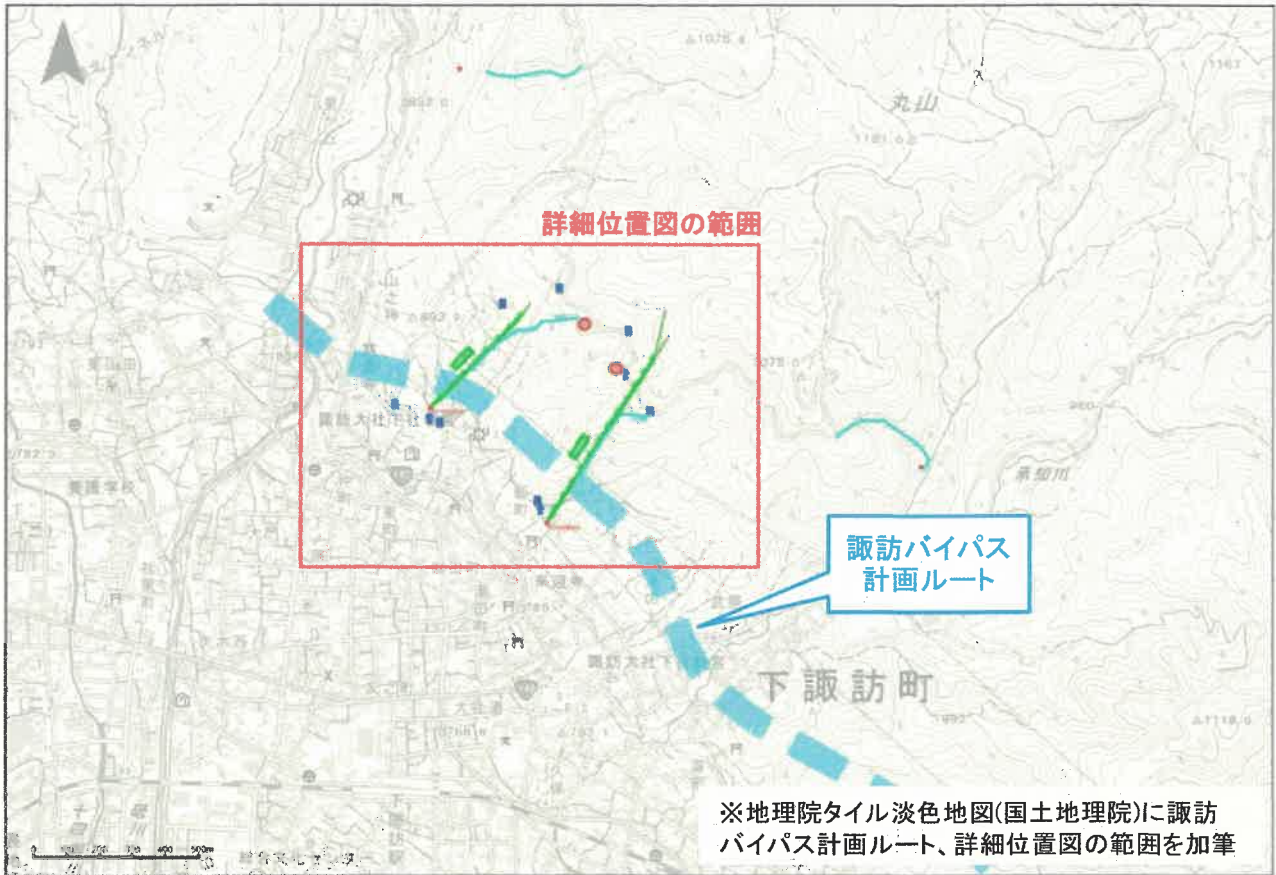


図1 全体位置図



図2 詳細位置図（物理探査、ボーリング調査）

調査内容 1（電気探査）

- 電極（金属棒）を一定間隔で直線状に設置し、地震計を接続した観測線（ケーブル）を測定器につなげます。
- ポータブルバッテリー（12V）で地盤に微弱な電流を流し、測定器で地盤の電気抵抗を観測します。
- 最大10名程度が現地に入ります。



電極・観測線の設置状況



観測の状況

調査内容 2（弾性波探査）

- 地震計を一定間隔で直線状に設置し、地震計を接続した観測線（ケーブル）を測定器につなげ、発破に伴う地震波が地盤を伝わる速度を観測します。
- 発破点では鉄の棒で1m程度穴をあけ、穴の底に火薬を入れて土で穴をふさぎます。発破は小規模なので立ち木などへの被害はありません。
- 現地で火薬の準備をする時には、立ち入り禁止柵を備えた火工所で作業します。
- 発破時は看板と見張員を配置し、通行者等の立ち入り防止を図るとともに、拡声器・ハンドサイレン等を鳴らして周知を行います。
- 発破音は水田などで利用されている「とりおどし」程度の音です。発破後は異常が無いかわ周りを点検し、発破箇所を埋め戻しを行い現況復旧します。
- 最大10名程度が現地に入ります。



地震計・観測線の設置状況



観測の状況

調査内容3 (ボーリング調査)

- 前述の弾性波探査では、測線の端部で発破孔を設置します。この発破孔の作成のため、ボーリング調査を実施します。
- 探査測線から少し離れた箇所でも、地盤調査のためボーリング調査を実施します。
- 削孔箇所では単管の足場を仮設し、資機材の運搬のためにモノレールの架設を予定しています。モノレール架設が困難な場合は、小型の不整地運搬車の使用を予定しています。クレーン付きトラックによりモノレールや不整地運搬車に積降ろしを行います。
- 最大6名程度が現地に入ります。



ボーリング調査、足場仮設状況の例



クレーン付きトラックによる機材搬入の例



モノレールによる機材搬入の例



運搬車による機材搬入の例